

(トップページ：<http://members3.icom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(サウジアラビア：<http://members3.icom.home.ne.jp/3632asdm/SaudiArabia.html>)

(写真は語るシリーズ：<http://members3.icom.home.ne.jp/3632asdm/PhotoEssay.html>)

マイライブラリー：0280

2013.10.8

前田 高行

### 写真は語るシリーズ：婦人下着店で客も店員もストレス倍加



上の写真は最近サウジアラビアの婦人下着販売店で見かける客と店員の風景である。二人とも黒いスカーフとアバヤで全身を覆っているためどちらが客でどちらが店員か定かではない<sup>1</sup>。

婦人下着販売店の店員はこれまでインド人やパキスタン人などの出稼ぎ男性であった。イスラムの戒律が特に厳しいサウジアラビアではこれまで女性のサービス業は銀行の女性専用窓口などに限られており、一般の小売業で女性が接客することはタブーであった。

しかし近年学校を卒業しても就職できない若者が急増している。政府発表の失業率は12%であるが、実際には20-24歳の若者の失業率は40%以上、女性に限れば70%に達すると言われる<sup>2</sup>。公共部門の雇用は飽和状態のため当局は民間部門の外国人労働者をサウジ人に置き換える自国民化(Saudization)政策を強力に推し進めている。その一つが非正規労働者の摘発と本国送還であり、またサウジ人従業員の比率が規定に達しない企業については外国人の労働ビザ更新を認めないNITAQATと呼ばれる厳しい雇用政策を推進している。こうして4-6月の3ヶ月間だけで20万人以上の外国人労働者が帰国させられた<sup>3</sup>。

さらに女性の雇用創出のため女性客相手の業務を女性に限定する政策(Feminization)も打ち出されている。その影響をまともに受けたのが婦人下着販売店である。零細小売業の婦人下着販売店の店員はほぼ例外なくインド人、パキスタン人などであったため、店主は大慌てで若いサウジ女性をリクルートした。女性の失業率が極めて高いため応募者には事欠かなかったが、実際に女性店員を店頭にしたとたちまち客である同性の女性から苦情が殺到した。曰く店員の接客態度が悪い、商品知識が無い云々である。これまで客の立場しか知らない若いサウジ女性に接客のノウハウは全くなく、習熟期間が短く前任者の外国人店員との引き継ぎも全くなかったのである。外国人店員たちは当局の収監を恐れ大慌てで帰国した。しかも公共の場での男女同席が制限されているサウジアラビアでは、外国人男性はサウジ人女性に業務の引き継ぎができないと言う極めて奇妙な状況が出現した。新人の売り子の接客態度が悪く商品知識が無いと客がクレームをつけるのも無理はないのである。

一方雇われた若いサウジ女性も不満たらたらである。十分な訓練も受けられないまま店頭に放り出され、同性の客の無理難題に悩まされ我慢の限界である。さらに給料はたかだか月 3 千リアル(邦貨換算で約 10 万円)である。実は彼女たちサウジ人女性は運転ができない。そのため通勤のための運転手を雇うか、タクシーを利用するしかない(公共バスは出稼ぎ労働者の乗り物でありサウジ人が利用できる代物ではない)。給料の大半は通勤費用に消えてしまう。このため早々と辞めてしまう女性が少なくないようである。

女性下着店では客も店員もストレスが溜まる一方である。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

---

<sup>1</sup> Arab News on 2013/10/5, 'Saudi women unhappy with feminization of lingerie stores'  
<http://www.arabnews.com/news/466776>

<sup>2</sup> MEED 24-30 May 2013, P18 'Foreign workforce on the way out'

<sup>3</sup> Arab News on 2013/7/4, 'Foreign hiring threatens jobs of 2million expats'  
<http://www.arabnews.com/news/456997>